

外国語科 2 年生シラバス

1 外国語科の目標

簡単な情報や考えなどを理解したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力の育成を目指す

2 外国語を学ぶ意義

- 聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるため
- コミュニケーションを行う目的や場所、状況などに応じて、表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けるため
- 相手意識を持ちながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けるため

3 評価の観点について

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
趣 旨	知識：英語の特徴やきまりに関する事項を理解することができる 技能：実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、その内容を捉える技能を身に付けることができる	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合うことができる	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてやり取りしようとしている

4 主体的に学習に取り組む態度について

- ① 粘り強さ 例：言語活動を粘り強く行い、あきらめずに課題解決しようと取り組むこと
例：相手意識を持ち、自分の考えや気持ちを伝えようとしている
- ② 外国語を学ぶ意義 例：相手意識を持ち、自分の考えや気持ちを伝え合おうとしている
- ③ 自らの学習の調整 例：振り返りカードを使って、学習計画や自分への振り返りをすることで、評価・改善しようとしていること

5 外国語の勉強アドバイス

- ① 振り返りカードをポイントに従って、たくさん書きましょう。自己評価につながります。
- ② パフォーマンステストに向けては、しっかり準備をしましょう。
筆記テストだけが評価されるわけではありません。
- ③ 話す、書くなど表現する機会がたくさんありますが、積極的に取り組みましょう。
- ④ 宿題、プリントなど、課題を忘れずこなすようにしましょう。

外国語科 2年生 学習計画と評価基準について

単元	学習時期	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
Unit 0	4月	【知識】過去形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】過去形を用いた文の理解をもとに、春休みにしたことやその感想について、伝え合ったりたずねたり答えたりする技能を身につけている。	クラスメートのことをよりよく知るために、春休みにしたことやその感想について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったりたずねたり答えたりしている。	クラスメートのことをよりよく知るために、春休みにしたことやその感想について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったりたずねたり答えたりしようとしている。
Unit 1	4月	【知識】未来を表すbe going toやwillを用いた文、<showなど+人+もの>、<call+A+B>の文の形・意味・用法を理解している。 【技能】未来を表すbe going toやwillを用いた文、<showなど+人+もの>、<call+A+B>の文の理解をもとに、これからの予定や計画、旅行の報告などについて、簡単な語句や文を用いて即興で話す技能を身につけている。	留学生に休日を楽しんでもらうために、自分が立てたプランについて、行き先の情報を整理し、簡単な語句や文を用いて話している。	留学生に休日を楽しんでもらうために、自分が立てたプランについて、行き先の情報を整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。
Unit 2	5月	【知識】接続詞when、if、because、thatを用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】接続詞when、if、because、thatを用いた文の理解をもとに、時や条件、理由や考え・意見などを伝え合う技能を身につけている。	ALTの先生に町の生活を楽しんでもらうために、ご当地グルメについて、その料理の情報やイチオシの理由について整理し、自分の考えや意見などを加えて、簡単な語句や文を用いて書いている。	ALTの先生に町の生活を楽しんでもらうために、ご当地グルメについて、その料理の情報やイチオシの理由について整理し、自分の考えや意見などを加えて、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。
Unit 3	6月	【知識】不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】不定詞を用いた文の理解をもとに、何かをする目的や感情の原因、すべきことや大切なことなどについて、たずねたり答えたりする技能を身につけている。	将来像や夢などについての考えを伝えるために、これから取り組んでいきたいことなどについて、自分の考えや気持ち、理由などを整理し、10年後の自分へのメッセージを簡単な語句や文を用いて書いている。	将来像や夢などについての考えを伝えるために、これから取り組んでいきたいことなどについて、自分の考えや気持ち、理由などを整理し、10年後の自分へのメッセージを簡単な語句や文を用いて書こうとしている。
Unit 5	10月下旬～11月	【知識】〈疑問詞+to〉を用いた文や〈主語+be動詞+形容詞+that〉の文の形・意味・用法を理解している。 【技能】〈疑問詞+to〉を用いた文や〈主語+be動詞+形容詞+that〉の文の理解をもとに、どのようにしたらよいかや、確信やうれしいことなどについて話す技能を身につけている。	だれもが暮らしやすい社会について考え、その方法などについて伝えるために、取り入れたいユニバーサルデザインについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、たずねたり答えたりしている。	だれもが暮らしやすい社会について考え、その方法などについて伝えるために、取り入れたいユニバーサルデザインについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、たずねたり答えたりしようとしている。

Unit 6	12月～1月	〔知識〕比較表現を用いた文の形・意味・用法を理解している。 〔技能〕比較表現を用いた文の理解をもとに、複数のものを比べて伝え合ったりたずねたり答えたりする技能を身につけている。	聞き手にとってわかりやすい発表をするために、身近なトピックについての調査結果のデータを、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。	聞き手にとってわかりやすい発表をするために、身近なトピックについての調査結果のデータを、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。
Stage Activity 2	1月	〔知識〕Unit 6までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。 〔技能〕Unit 6までの学習事項を用いて、自分の学校や学校生活について話す技能を身につけている。	自分の学校についてよりよく知ってもらうために、自分の学校や学校生活について情報を整理し、具体例をまじえながら説明している	自分の学校についてよりよく知ってもらうために、自分の学校や学校生活について情報を整理し、具体例をまじえながら説明しようとしている。
Unit 7	2月～3月上旬	〔知識〕受け身の文の形・意味・用法を理解している。 〔技能〕受け身の文の理解をもとに、世界遺産などについて事実を伝え合ったりたずねたり答えたりする技能を身につけている。	日本の世界遺産の特徴を海外の人に紹介するために、選んだ世界遺産の特徴やそこで楽しめることについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて書いている。	日本の世界遺産の特徴を海外の人に紹介するために、選んだ世界遺産の特徴やそこで楽しめることについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて書こうとしている
Stage Activity 3	3月	〔知識〕Unit 7までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。 〔技能〕Unit 7までの学習事項を用いて、自分の立場を明確にして、意見を述べる技能を身につけている。	自分たちの町の将来について考えるために、情報を整理し、自分の立場を明確にして、意見を述べ合っている。	自分たちの町の将来について考えるために、情報を整理し、自分の立場を明確にして、意見を述べ合おうとしている。
具体的な評価の方法		①授業中に生徒の言語活動の取り組み状況を観察する。(思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度) ②課題で提出した英文の評価およびインタビューテストをする。(知識・技能) ③Unit Activityの活動で使用したワークシートやノートで理解度や取り組み状況などを評価する。(思考・判断・表現) ④本文の音読を評価する。(知識・技能、思考・判断・表現) ⑤本文の内容について聞いたり読んだりしたことを、筆記テストをする。(知識・技能、思考・判断・表現) 小テスト/中間・期末・学年末考査など ⑥テーマの説明に用いられる語句や文法事項及び表現を理解しているか筆記テストをする。(知識・技能) ⑦パフォーマンステストをする。(知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)		

技術・家庭科（技術分野）2年生シラバス

1 技術分野の目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成する。

2 技術分野を学ぶ意義

生活や社会を支える技術を理解できるようになる。
生活や社会の中で見つけた課題を解決する方法を考え、よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて工夫し創造できるようになる。

3 評価の観点について

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
趣 旨	生活の中で利用されている技術の基礎的な理解を図るとともに、それらに関わる技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

4 主体的に学習に取り組む態度について

- ① 粘り強さ 例：技術の課題を粘り強く考え、あきらめずに解決しようとする取り組みこと
- ② 技術を学ぶ意義 例：技術を実際の生活や学習に生かそうとしていること
- ③ 自らの学習の調整 例：課題解決の過程を振り返って評価・改善をしようとしていること

5 技術分野のアドバイス

- ① 技術に関わる原理・法則を自分の言葉で説明できるようにしましょう。
- ② 道具の安全・適切な使い方を自分の言葉で説明できるようにしましょう。
- ③ 技術の最適化の視点で考えましょう。

技術・家庭科（技術分野） 2年生 学習計画と評価基準について

節	学習時期	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
情報の技術	1 3 5 回目	・情報の表現、記録、計算、通信の特性等の原理・法則と、情報のデジタル化や処理の自動化、システム化、情報セキュリティ等に関わる基礎的な技術の仕組み及び情報モラルの必要性について説明できる。 ・情報通信ネットワークの構成と、情報を利用するための基本的な仕組みを理解し、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。 ・計測・制御システムの仕組みを理解し、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる。 ・生活や社会、環境との関わりを踏まえて、技術の概念を理解することができる。	・技術に込められた問題解決の工夫について考えることができる。 ・問題を見いだして課題を設定し、使用するメディアを複合する方法とその効果的な利用方法等を構想して情報処理の手順を具体化するとともに、制作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えることができる。 ・問題を見いだして課題を設定し、入出力されるデータの流れをもとに計測・制御システムを構想して情報処理の手順を具体化するとともに、制作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えることができる。 ・技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えることができる。	・主体的に情報の技術について考え、理解しようとしている。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造しようとしている。
具体的な評価の方法		・定期テスト・ワークシート・作品	・定期テスト・ワークシート・作品	・振り返り・授業観察

技術・家庭科（家庭分野）2年生シラバス

1 家庭科の目標

生活の基盤となる家庭や家族の機能を理解し、衣食住などの生活にかかわる基礎的・基本的な知識及び技術を習得する。

2 家庭科を学ぶ意義

家庭での生活の自立ができるようになる。
家庭生活をよりよく豊かに創造しようとする能力と態度が育成される。

3 評価の観点について

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
趣 旨	知識：生活と技術について理解できる。 技能：生活と技術に係る技能を身につけることができる。	思考：生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決策を構想することができる。 判断：生活や社会の課題の解決策を実践し、評価・改善することができる。 表現：生活や社会の課題の解決策の実践・評価・改善を表現することができる。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

4 主体的に学習に取り組む態度について

- ① 粘り強さ 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとする。
- ② 家庭を学ぶ意義 生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識と技術を身に付ける。
- ③ 自らの学習の調整 粘り強い取り組みを行う中で、課題解決に主体的に取り組む、振り返って改善したりして生活を工夫し創造し実践しようとしている。

5 家庭の勉強アドバイス

- ① 学校で勉強した知識・技術は家で積極的に実践しましょう。
- ② レポート等、家庭生活に結び付いた宿題にしっかり取り組みましょう。

技術・家庭科（家庭分野） 2年生 学習計画と評価基準について

節	学習時期	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1章 2編 私たちの衣生活	4月～6月下旬	・衣服と社会生活との関わりが分かり目的に応じた着用、個性を生かした着用及び衣服の適切な選択について理解できる。 ・衣服の計画的な活用必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。	衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について学んだことを生活や学習に生かすことができる。	衣服の選択、手入れについて課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活に生かそうとしている。
2章 生活のために（布を用いた製作）	6月下旬～10月上旬	製作するものに適した材料や縫い方について理解しているとともに用具を安全に取り扱い製作が適切にできる。	資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた製作について、学んだことを製作計画や製作や生活に生かすことができる。	より良い生活の実現に向けて、布を用いた製作について、主体的に取り組んだり振り返って検討して、生活に生かそうとしている。
1章 3編 住まいの役割と安全な住まい方	10月上旬～12月	・家族の生活と住空間との関わりが分かり、住居の基本的な機能について理解することができる。 ・家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解することができる。	・家族の安全を考えた住空間の整え方について学んだことを生活や学習に生かすことができる。	家族や地域の人々と協働しより良い生活の実現に向けて住居の機能と安全な住まい方について課題の解決に主体的に取り組んだり、学んだことを生活や学習に生かすことができる。
4編 私たちの消費生活と環境	1月～3月	・購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解することができる。 ・売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解しているとともに、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 ・消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解することができる。	・物資・サービスの購入について学んだことを生活や学習に生かすことができる。 ・自立した消費者としての消費行動について学んだことを生活や学習に生かすことができる。	より良い生活の実現に向けて、金銭の管理と購入について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って検討して、生活に生かそうとしている。
具体的な評価の方法		・定期テスト・作品・授業での活動、発言・ワークやレポート等の提出物の内容・行動観察	・定期テスト・授業での活動、発言・ワークやレポート等の提出物の内容	・定期テスト・作品・授業での活動、発言・ワークやレポート等の提出物の内容・行動観察・自己評価

保健体育科2年生シラバス

1 保健体育科の目標

- ①運動の楽しさや喜びを知る
- ②運動をして体力をつけることの必要性を知る
- ③自分の課題を見つけることができるようになり、それを友達に相談したり解決できるように話し合ったりできるようになる
- ④試合や競争を通じて、公正に取り組むこと、仲間と協力すること、自分の役割、一人ひとりの違いを知る
- ⑤健康・安全について理解する、健康についての自分の課題に気づく

2 保健体育を学ぶ意義

心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康の維持やより良くできるようなスポーツライフを実現する

3 評価の観点について

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
頑 張 っ て ほ し い 事	①各運動の特性や歴史、技の名称や行い方を理解できる ②高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法を理解している ③運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解している ④運動の特性に応じた、基本的な技能を身に付けている	①自分や仲間の課題を発見する ②課題解決に向けて、運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫している ③自分や仲間の考えたことを友達や先生に伝えたり、発表したりすることができる（振り返りシート・ロイロノート・レポートに記入できている）	①健康・安全を確保して積極的、自主的に授業に参加しようとしている（出席・遅刻・忘れ物が影響） ②試合を行う時に、公正に行う事や仲間と協力したり、自分の役割を果たそうとしている ③その日の自分の課題を見つけて、次の授業でよりよくするための工夫をしようとしている（振り返りシート・ロイロノート・レポートに記入できている）

4 主体的に学習に取り組む態度について

- ① 粘り強さ 例：健康・運動の自分の課題を粘り強く考え、友達と比較しながら諦めずに解決しようと取り組むこと
例：苦手な種目にも積極的に取り組むこと
- ② 自らの学習の調整 例：課題解決の過程を振り返って、評価・工夫・改善をしようとしていること
（振り返りシート・ロイロノート・レポートに記入できていること）

5 保健体育の勉強アドバイス

- 【単元別テスト・期末テスト・レポート】
- ①保健の教科書、保体資料ノートの内容を覚える
 - ②種目のルールや何故その種目ができたのか（歴史）を覚える
 - ③自分の課題を解決していくためにどうすればいいのか、レポートにまとめる
- 【実技】
- ①一生懸命（精一杯）行う
 - ②ほかの人と比較するのではなく、自分がどのくらい上達したのか（タイムならどれだけ縮んだのか）を重視して活動する
 - ③毎回安全かつルールを守り参加する

【学習計画】

	4月～	5月～	6月～	7月～	9月～	10月～	11月～	12月～	1月～	2月～	3月～
行う種目	集団行動 体づくり運動1-3	体力テスト	陸上競技 （リレー・短距離走） バレーボール	水泳 体づくり運動4-7	ダンス 器械運動		ソフトボール バドミントン	陸上競技 （長距離走）	武道 卓球	サッカー バスケットボール	
毎回の授業ですること	集合・整列・ラジオ体操										
保健編	傷害の発生要因 交通事故の発生要因 交通事故の危険予測と回避 犯罪被害の防止 自然災害による危険 自然災害による傷害の防止			共に生きる 応急手当の意義と方法 生活習慣病の起こり方 生活習慣病の予防 がんの予防 喫煙の害と健康				飲酒の害と健康 薬物乱用の害と健康 薬物乱用の社会的な影響 喫煙・飲酒・薬物乱用の要因と適切な対処			
体育編	運動やスポーツの効果				運動やスポーツの学び方				運動やスポーツの安全な行い方		

保健体育科2年生 評価規準について

【評価規準】

運動領域	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動基礎	・体の動きを正しく、体の使っているところを意識しながら体動することができる。	・その日に行う運動で使う部位をより意識して毎日体動を行うことができる。	・健康・安全に気を付けながら、積極的に取り組もうとしている。
体づくり運動	・心と体をほぐし、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことについて、言ったり書いたりすることができる。 ・体の柔らかさ、巧み（技術的）な動き、力強い動き、動きを継続する能力を高めることについて、言ったり書いたりすることができる。 ・「心と体をほぐしていること」や「自分の心や体の状態に気づく」、「仲間と積極的に協力し合う」ということについて、言ったり書いたりすることができる。 ・体の動きを高めるには、安全で合理的に高める行い方があることについて、言ったり書いたり書いたりすることができる。 ・体の動きを高めるには、適切な強度、時間、回数、などを考えて組み合わせる方法があることについて、言ったり書いたり書いたりすることができる。 ・運動の組み合わせ方には、効果のよい組合せとバランスのよい組合せがあることについて、言ったり書いたり書いたりすることができる。	・体づくりの運動で、「心と体の関係や心身の状態に気づく」、「仲間と積極的に協力し合う」ことを意識して行い、自分の動きを高めるために、自己の課題に応じた運動を行うことができる。 ・学習した安全の面でもより気を付けることを、他の学習場面でも実践し、仲間と協力し合うことができる。 ・仲間と協力し合う場面でも、仲間との協力し合いを大切に、話し合いに参加することができる。 ・個人の体力の程度や性別等の違いを考慮して、仲間とともに楽しむための運動を見付け、仲間と協力することができる。	・体づくり運動の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・仲間の補助をしたり助言したりして、仲間の学習を助けようとしている。 ・一人ひとりの違いを認めようとしている。 ・なによりに正しい行い方などについて話し合いに参加しようとしている。 ・健康・安全に留意し取り組もうとしている。
行楽活動	・号令に対する動きを理解し、行動することができる。	・会員の動きが揃うように動きを見比べ、完成したものを発表することができる。	・集団行動に意図的に取り組もうとしている。授業の内容に対する課題に自ら気づき、次の授業の活動をよりよくするために工夫しようとしている。
体力テスト	・テストの名前を正しく理解し、自分の力を最大限に発揮することができる。	・自分と他者の行い方を比べよりよい記録ができるように工夫することができる。	・体力テストに意図的に取り組もうとしている。自分の記録に対する課題に自ら気づき、今後の自分の記録をよりよくするために工夫しようとしている。
器械運動	○知識 ・それぞれの種目や技などにより、主として高まる体力要素が異なること、技を行うための合理的な動き方のポイントを理解することができる。 ○技能 ・全身を支えたり突き放したりするための着手の仕方、回転力を高めるための動き方、起き上がりやすくなるための動き方などを実践し、基本的な技の一通の動きを滑らかにすることができる。 ・学習した基本的な技を発展させて、一通の動きで行うことができる。	・動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 ・自分と友達を比べて、課題に気づき仲間とともに課題を解決することができる。	・器械運動に積極的に取り組むとともに、出来栄の良い技や演技に仲間の声援がけられること、仲間の努力を認めようとし、練習の補助や助言により仲間の学習の援助をしたりしようとしている。 ・健康・安全に気を配り、自己の課題に気づき、技の完成に向けて工夫した練習を行おうとしている。
陸上競技（ハッパ、走り、投げる）	○知識 ・陸上競技の特性（歩く・走る・投げる）や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解することができる。 ○技能 ・短距離走・リレーでは、滑らかな動きで速く走ることやバタンの変換でタイミングを合わせるなどができる。 ・長距離走では、ペースを守って走ることができる。 ・走り幅跳びでは、スピードに乗った助走から素早く踏み切ることが出来る。	・動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 ・自分と友達を比べて、課題に気づき仲間とともに課題を解決することができる。	・陸上競技に積極的に取り組むとともに、種族などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人ひとりの違いに応じた練習や技を認めようとするなどを行ったり、健康・安全に気を配ったりしようとしている。 ・また、自分の課題に気づき、今後の自分の記録をよりよくするために工夫しようとしている。
バレーボール・バドミントン・卓球・ソフトボール	○知識 ・球技の特性（集団対集団、個人対個人で試合をすること）や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解することができる。 ○技能 ・ゴール型では、ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前の攻防をすることができる。 （サッカー・バスケットボール） ・ネット型では、ボールや用具の操作と位置関係にあるなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 （バレーボール・卓球・バドミントン） ・ベースボール型では、基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と位置関係での守備などによって攻防をすることができる。（ソフトボール）	・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	・球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなど、一人ひとりの違いに応じたプレイなどを認めようとする、仲間の学習を援助しようとするなどを行ったり、健康・安全に気を配ったりしようとしている。 ・また、自分の課題に気づき、今後の自分のプレイがよりよくなるように工夫しようとしている。
水泳	○知識 ・水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解することができる。 ○技能 ・クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。 ・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。 ・背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。 ・バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。	・泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。	・水泳に積極的に取り組むとともに、種族などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人ひとりの違いに応じた練習や技を認めようとするなどを行ったり、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ったりしている。
武道	○知識 ・武道の特性（技を身に付ける、身に付けた技を使って相手と戦う）や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解することができる。 ○技能 ・表道では、相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、投げたり叩いたりするなどの簡易な攻防をすることができる。 ・剣道では、相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて、打ったり受けたりするなどの簡易な攻防をすることができる。	・攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。	・武道に積極的に取り組むとともに、相手を大切にし、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人ひとりの違いに応じた練習や技を認めようとするなどを行ったり、同じ技を用いながら健康・安全に気を配ったりしようとしている。
ダンス	○知識 ・ダンスの特性（自己を表現）や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などについて理解することができる。 ○技能 ・代表的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊ることができる。	・表現などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。また、仲間とともに作り上げたものを発表することができる。	・ダンスに積極的に取り組む自分自身を表現しようとし、仲間の学習を援助しようとするなど、交流などの話し合いに参加しようとするなど一人ひとりの違いに応じた表現や役割を認めようとするなどを行ったり、健康・安全に気を配ったりしようとしている。
災害の防止	・交通事故や自然災害などによる被害の発生要因、交通事故などによる被害の防止、自然災害による被害の防止、応急手当ての重要性と実施について理解し、心肺蘇生法などの技能を身につけている。	・被害の防止に役立つ事象や情報から自己の課題を発見し、危険の予測を基に、危険を回避したり、被害の悪化を防止したりする方法を考え、適切な方法を選択し、それらを他者に伝えたり、表したりしている。	・被害の防止について関心を持ち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、粘り強く学習に取り組もうとしている。

健康 向 な 予 生 防 活 ②と	・健康な生活と生活習慣病などの予防および喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、理解している。	・健康な生活と生活習慣病などの予防および喫煙、飲酒、薬物乱用と健康に関わる事象や情報に基づいて課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりする視点から解決を目指して科学的に思考・判断し、それらを他者に伝えたり、渡したりしている。	・健康な生活と生活習慣病などの予防および喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について関心をもち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、自分の健康の保持増進や回復についての学習に粘り強く取り組もうとしている。
安 全 な 学 習 や 行 動 の 方 法 や ポ ン ト	・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について、理解している	・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考・判断するとともに、それらを他者に伝えたり、渡したりしている。	・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について関心をもち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、粘り強く学習に取り組もうとしている。
具 体 的 な 学 習 の 方 法	定期テスト・単元別テスト・レポート・表技テスト・授業での成長・授業の様子・提出物	授業中の仲間との関わり方・発表・発言・振り返りシート・ロイロノートの内容	出席・遅刻・忘れ物・授業中の行動や発言・授業での成長・振り返りシート・ロイロノートの内容

音楽科2年生シラバス

1 音楽科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

2 音楽科を学ぶことの意義

- ・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を演奏したり聴いたりすることが好きになる。
- ・色々な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、自分でも創意工夫して表現することができるようになる。
- ・美しい音楽を聴いて感動し、色々な音楽を自分から鑑賞することができるようになる。

3 評価の観点について

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
趣 旨	知識：音楽を表現・鑑賞するために、その背景にある仕組みや歴史等を理解することができる。 技能：創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	思考：その音楽がなぜ美しいと感じたり感動したりするのかを考察することができる。 判断：今の自分の現状を分析して課題を見つけ、その解決法を選ぶことができる。 表現：より美しく感動的な表現をするために創意工夫をすることができる。	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

4 主体的に学習に取り組む態度について

- ①粘り強さ(例):音楽科の課題を粘り強く考え、あきらめずに解決しようと取り組むこと。
 (例):自分の考えを更に深めるために、友達の意見も聞き、一緒に答えを導き出すこと。
- ②音楽を学ぶ意義(例):音楽科で学んだ事柄を次の学習や実際の生活に生かそうとしていること。
- ③自らの学習の調整(例):課題解決の過程を振り返って評価・改善をしようとしていること。

5 音楽科の勉強アドバイス

- ①授業での表現活動(歌唱や楽器演奏など)は、恥ずかしがらずに積極的に、楽しみながら一生懸命やりましょう。
- ②必要な知識や技能が定着するよう、最後まであきらめずに取り組みましょう。

音楽科 2年生 学習計画と評価基準について

節	学習時期	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
楽典	4 月 ～ 3 月	様々な音符や休符、音楽記号など基礎的な名前や意味などを理解している。	それぞれの記号の特徴をふまえ、演奏でどのような表現がふさわしいか、生み出す効果について考える。	それぞれの記号の特徴に関心を持ち、ワークシートにまとめるなど主体的に学習活動に取り組もうとしている。
合唱曲に親しむ	4 月 ～ 7 月	合唱を通した音楽の美しさや感動を理解し、楽しみながら合唱することができる。	思いや意図を持ってその曲にふさわしい、創意工夫した合唱表現をすることができる。	主体的・共同的に恥ずかしがらずに合唱を通した音楽表現に取り組もうとしている。
「夏の思い出」	5 月 ～ 6 月	「夏の思い出」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容とのかかわりを理解している。またこれらの曲を美しく感動的に歌うために必要な発声や身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表現している。	「夏の思い出」を現状に対して、より美しく感動的な歌唱表現をするために必要な要因を考え、創意工夫することができる。	「夏の思い出」の曲の背景の理解や歌唱練習に対して、主体的・協働的に取り組もうとしている。
第5交響曲	5 月 ～ 6 月	「交響曲第5番」の曲想と音楽の構造や演奏形態、ベートーベンの生涯について理解している。	「交響曲第5番」の演奏を鑑賞し、そこから生まれる感動の要因について考えることができる。	「交響曲第5番」が表す背景及び曲の表情や味わいに関心を持ち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
リコーダー	4 月 ～ 12 月	アルトリコーダーの基本的な演奏技能を身に付け、簡単な曲を表現できる。	アルトリコーダーで美しい演奏をするために必要な要素を考え、創意工夫している。	アルトリコーダーで曲を演奏できる喜びを目指し、主体的・協働的に練習に取り組もうとしている。
学年・全校合唱	7 月 ～ 10 月	文化祭で学年・全校で合唱発表するために必要な美しい発声、正しい音程での歌唱などの技能を身に付け、表現している。	現状に対して、より美しく感動的な合唱表現をするために必要な要因を考え、創意工夫することができる。	学年・全校合唱の練習に対して、パートやクラスで主体的・協働的に参加しようとしている。
「アイーダ」	10 月	オペラ「アイーダ」の曲想と音楽の構造や演奏形態、使用される楽器やその他のオペラの作品について理解している。	オペラ「アイーダ」の演奏を鑑賞し、そこから生まれる感動の要因について考えることができる。	オペラ「アイーダ」が表す背景や情景及び曲の表情や味わいに関心を持ち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
伝統音楽 日本	1 月 ～ 2 月	歌舞伎「勧進帳」の曲想と音楽の構造や、演奏法について理解している。	歌舞伎「勧進帳」を鑑賞し、そこから生まれる感動の要因について考えることができる。	歌舞伎「勧進帳」の鑑賞活動や、その背景の理解について、主体的に取り組むことができる。
ギター	1 月 ～ 2 月	ギターでコード演奏する技能を身に付け、「メリーさんの羊」を弾き歌い演奏することができる。	美しくギター演奏をするために必要な要因を分析し考え、創意工夫することができる。	ギターの練習に対して主体的・協働的に取り組むことができる。
卒業式	1 月 ～ 3 月	卒業式における「君が代」「校歌」「式歌」の意味を理解し、それらを美しく感動的に演奏することができる。	現状に対して、より美しく感動的な合唱表現をするために必要な要因を考え、創意工夫することができる。	曲の背景の理解や歌唱練習に対して、主体的・協働的に取り組もうとしている。
評価の方法		行動観察、発言、発表、ワークシート、実技テスト、ロイロでの振り返り、定期テストなど	発言、発表、ワークシート、ロイロでの振り返り、実技テスト・定期テストなど	行動観察、発言、発表、ワークシート、ロイロでの振り返り、実技テストなど

美術科 2年生 シラバス

1.美術分野の目標

美術の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成を目指す。

2.美術の分野を学ぶ意義

- ・生徒の学習を積極的に評価し、学習全般の意義や価値を実感できるようになるため。
- ・生徒自身が自分の学習や仕事の見通しをたて、学習や仕事の過程や成果を評価し、自身で改善や学習意欲の向上を図り資質・能力の育成に活かすことができるようになること。
- ・生徒自身で創意工夫し、自身の学習の成果が円滑に接続されるように工夫することができるようになること。

3.評価の観点について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣 旨	知識：対象や事象を捉える造形的な視点について理解することができる。 技能：意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。	思考：自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて考えることができる。 判断：主題を生み出すことができる。 表現：豊かに発想し構想を練ることができる。また、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができる。	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとすることができる。

4.主体的に学習に取り組む態度について

○より良い表現を目指して構想を工夫改善すること

例 アドバイスなども聞きつつ、自分のアイデアをより良くすることに取り組む

○粘り強く取り組む態度が感じられること

例 与えられた時間の中で、創意工夫しながら良い作品(良い考え)になるように取り組む

○美術の知識及び技能を使い、創造活動の喜びを感じ取っていることが確認できること

例 私たちの社会の中や生活の中に学習を活かすことができる

例 授業中や学校や社会の中で、作品などを楽しく鑑賞することができる

第2学年 年間指導計画

第2学年で「絵や彫刻など」の「描く活動」、「デザインや工芸など」の「つくる活動」を中心に行う

・第2・3学年では、第1学年で身につけた表現に関する資質・能力を柔軟に活用して、より豊かに高めることを基本として、一題材に時間をかけて指導する。そのため、内容を選択して行い、2学年間で全ての事項を指導する。

第2学年 年間35時間

1学期：12時間／2学期：14時間／3学期：9時間

学期	時数	分野・領域	ページ	題材名	学習活動	観点別評価規準例				
						知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
						知識（知）	技能（技）	発想・構想（発）	鑑賞（鑑）	
1学期（12時間）	1～2	オリエンテーション	2～3	うつくしい！	○美しいと感じるもの、こと、景色などを探す。 ○タブレット端末などを活用し、気がついたことを書き込む。 ○感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心をもち、作品の見方を深める。	形や色彩、材料、光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、美しさを知っている。			友達や自分のそれぞれのよさや美しさを感じ取り、作者の考えや表現の意図や工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作品のよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図や工夫を考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
		絵や彫刻など（鑑賞）	24～26	「明日の神話」を鑑賞しよう	○「明日の神話」を鑑賞し、作者の表現の意図や工夫を感じ取る。 ○タブレット端末などを活用し、気がついたことを書き込んだり、作者や制作の背景などを解説動画で知り、美術文化への見方や感じ方を深める。 ○感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心をもち、作品の見方を深める。	形や色彩、材料、光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、美しさを知っている。「明日の神話」などの岡本太郎の作品を全体のイメージや作風で捉えることを理解している。			「明日の神話」などの岡本太郎の作品について、それぞれのよさや美しさを感じ取り、作者の考えや表現の意図や工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作品のよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図や工夫を考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	8～9	絵や彫刻など（描く／つくる活動）	22～23	形と色の挑戦	○抽象的な表現に関心をもち、自分の感情や思いなどから主題を生み出す。 ○主題をもとに、形や色彩、材料などの構想を練る。 ○形や色彩の組み合わせ方や構成などを工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	形や色彩などの組み合わせが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、描かれた感情や思いを全体のイメージや作風で捉えることを理解している。	材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表現している。	自分の感情や思いなどから主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	見えないうちの形や色彩で表した作品のよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図や工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に自分の感情や思いから発想を広げ、作品に表す表現の学習活動に取り組もうとしている。
		絵や彫刻など	28～29	墨で表現する楽しさ	○墨による多様な表現に関心をもち、墨ならではの効果をもとに主題を生み出す。 ○主題をもとに、墨の特性を生かして構想を練る。 ○墨の表現や余白の生かし方などを工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	墨の濃淡、かすれ、にじみなどの表現の効果や、余白の効果、造形的な特徴などもとに、墨による表現の作風を全体のイメージで捉えることを理解している。	墨の特性を生かし、意図に応じて工夫して表現している。	墨の表現のさまざまな効果をもとに主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	墨の表現のよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図や工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を広げている。	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく墨の効果を生かして作品を描く表現の学習活動に取り組もうとしている。
2		絵や彫刻など（鑑賞）	12～15	「最後の晩餐」を鑑賞しよう	○「最後の晩餐」を鑑賞し、作者の表現の意図や工夫を感じ取る。 ○タブレット端末などを活用し、人物のセリフなどを書き込んだり、レオナルド以外の作家の「最後の晩餐」を鑑賞したり、解説動画を見たりして、美術文化への見方や感じ方を深める。 ○感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心をもち、作品の見方を深める。	形や色彩などが感情にもたらす効果や、遠近感や明暗、人物の描写、造形的な特徴などもとに、レオナルドの作品やルネサンスの美術の特色を全体のイメージや作風で捉えることを理解している。			レオナルドの作品やルネサンスの美術の造形的なよさや美しさを感じ取り、新たな創造を目指した作者の表現の意図や工夫について考えるなどして、美意識を高め、美術文化への見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的にレオナルドやルネサンスの美術のよさや美しさなどを感じ取り、作者の表現の意図や工夫を考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
1		オリエンテーション	68～69	暮らしの中のデザイン・工芸	○デザインに関心をもち、使う場面や目的による材料や形の違いなどを考える。 ○感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心をもち、作品の見方を深める。	形や色彩、材料などが使う人にもたらす効果や、さまざまな機能性と美しさ、造形的な特徴をもとに、全体のイメージで捉えることを理解している。			さまざまなデザインの目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、使う場面や目的に応じてどのように工夫されているかについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的にさまざまなよさや美しさなどを感じ取り、使う場面や目的に応じてどのように工夫されているかについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

2 学期 (14時間)	2	デザインや工芸 など 【鑑賞】	86~87	形や材料で比べる	○カップのデザインに関心をもち、使う 場面や目的による材料や形の違いなど を考える。 ○感じたことや考えたことを話し合い、 他者の考えに関心をもち、作品の見方 を深める。	形や色彩、材料 などが使う人に 与える効果や、さ まざまなカップの 機能性と美しさ、 造形的な特徴を もとに、全体のイ メージで捉えるこ とを理解してい る。			さまざまなカップ の目的や機能と の調和のとれた 洗練された美し さなどを感じ取 り、使う場面や目 的に応じてどの ように工夫されて いるかについて 考えるなどして、 美意識を高め、 見方や感じ方を 深めている。	美術の創造活動 の喜びを味わ い、主体的にさ まざまなカップの よさや美しさなど を感じ取り、使う 場面や目的に応 じてどのように工 夫されているか について考える などの見方や感 じ方を深める鑑 賞の学習活動に 取り組もうとし ている。
	1~2	デザインや工芸 など 【つくる活動】	78~79	季節感のある暮らし	○季節感を取り入れてきた日本の文化 に関心をもち、構成や装飾の目的や条 件などをもとに、四季折々の動植物や 天候などから主題を生み出す。 ○主題をもとに、形や色彩、材料などの 構想を練る。 ○材料の特性を生かし、形や色彩など を工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫 を感じ取り、話し合う。	形や色彩、材料 などが感情にも たらす効果や、 造形的な特徴を もとに、表された 季節感を全体の イメージで捉える ことを理解してい る。	意図に応じて表 現方法を創意工 夫し、制作の順 序などを総合的 に考えながら、見 通しをもつて創 造的に表している。	構成や装飾の目 的や条件などを もとに、四季折 々の動植物や天 候などから主題 を生み出し、美 的感受を働かせ て調和のとれた 洗練された美し さなどを総合的 に考え、表現の 構想を練っている。	季節感を表した 作品の調和のと れた洗練された 美しさなどを感じ 取り、季節感が どのように作品 に取り入れられて いるかについて 考えるなどして、 美意識を高め、 見方や感じ方 を深めている。	美術の創造活動 の喜びを味わ い、主体的に四 季折々の動植物 や天候などをも とに発想し、デザ インする表現の 学習活動に取 組もうとしている。
	8~9	デザインや工芸 など 【描く活動】	52~55	暮らしをいろいろの文様	○世界各地の文様に興味をもち、飾る ものや使う場面などを考え、身の回り のものなどからイメージを広げ、主題を生 み出す。 ○主題をもとに、形や色 彩、構成などの構想を練る。 ○形や色彩、構成などを工夫して制作 する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図 や工夫を感じ取り、話し合う。	文様の形や色 彩、構成などが 見る人に与える 効果や、造形的 な特徴をもとに、 文様を全体のイ メージで捉える ことを理解してい る。	自分の主題に応 じて、制作の順 序を考え、見通 しをもつて、材 料や用具の生か し方を工夫して、 連続する文様を 表している。	飾るものや使う 場面などを考え、 身の回りのもの などからイメージ を広げること主 題を生み出し、 美的感覚を働か せて調和のとれ た美しさなどを 考え、表現の構 想を練っている。	日本や諸外国の 文様の造形的な よさや美しさなど を感じ取り、表現 の工夫や文様に 込められた願い、 生活との関わり について考える などして、見方 や感じ方を広げ ている。	美術の創造活動 の喜びを味わ い、楽しく日本や 諸外国の文様に 込められた願 いや生活との関 わりなどを感じる 鑑賞の学習活動 に取り組もうと している。
	1~2	デザインや工芸 など 【鑑賞】	74~75	印象に残る映像表現	○映像で情報を伝える作品に関心をもち、 映像表現ならではの特徴や効果な どを考え、見方や感じ方を深める。 ○感じたことや考えたことを話し合い、 他者の考えに関心をもち、作品の見方 を深める。	形や色彩、光な どが感情にもた らす効果や、造 形的な特徴をも とに、映像で表 現された作品を 全体のイメージ や作風で捉える ことを理解してい る。			映像表現のよさ や美しさなどを感じ 取り、映像なら では表現の特性 や効果を生か して情報を伝え る工夫について 考えるなどして、 美意識を高め、 見方や感じ方 を深めている。	美術の創造活動 の喜びを味わ い、主体的に作 品のよさや美し さなどを感じ取 り、映像表現の 効果を生かして 情報を伝える工 夫などを感じる 鑑賞の学習活動 に取り組もうと している。
	1~2	絵や彫刻など 【鑑賞】	27~42	日本の絵画を楽しむ五つの キーワード	○教科書紙面に掲載されている日本の 絵画作品を鑑賞し、それぞれのよさや 美しさを感じ取る。 ○五つのキーワードを手がかりに、日 本の美術に独特の自然観や美意識、 ユーモアを感じることで、日本の美術文 化への見方や感じ方を深める。 ○感じたことや考えたことを話し合い、 他者の考えに関心をもち、作品の見方 を深める。	形や色彩、材 料、光などが感 情にもたらす効 果や、構図や余 白、造形的な特 徴などをもとに、 日本の絵画作品 の特色を全体の イメージや作風 で捉えることを理 解している。			日本の絵画のよ さや美しさなどを感じ 取り、作者の表 現の意図や工 夫、日本の美術 の自然観や美意 識、ユーモアな どを感じるなど して、美意識を 高め、美術文化 への見方や感 じ方を深め ている。	美術の創造活動 の喜びを味わ い、主体的に日 本の絵画や美術 文化などの見方 や感じ方を深 める鑑賞の学習 活動に取り組 もうとしている。
9.3 時学期	1~2	絵や彫刻など 【鑑賞】	43~45	ゴッホと浮世絵	○ゴッホの描いた作品を鑑賞し、それぞ れのよさや美しさを感じ取る。 ○ゴッホの作品に浮世絵が与えた影響 を、解説動画を鑑賞するなどして捉え、 日本と西洋の美術文化への見方や感 じ方を深める。 ○感じたことや考えたことを話し合い、 他者の考えに関心をもち、作品の見方 を深める。	形や色彩、材 料、光などが感 情にもたらす効 果や、作品の造 形的な特徴をも とに、浮世絵や ゴッホの作品の 特徴や、日本や 西洋の美術文化 の特色を全体の イメージや作風 で捉えることを理 解している。			日本や西洋の美 術作品につい て、それぞれの よさや美しさなど を感じ取り、浮世 絵がゴッホに与 えた影響につ いて考え、日本 や西洋の美術文 化などの見方 や感じ方を深 め ている。	美術の創造活動 の喜びを味わ い、主体的に浮 世絵がゴッホに 与えた影響につ いて考え、日本 や西洋の美術文 化などの見方 や感じ方を深 める鑑賞の学習 活動に取り組 もうとしている。
	7~8	絵や彫刻など 【描く活動】	8~11	心の中の風景を表す	○心に残る風景を表すことに関心をもち、 記憶の中にある風景に、自分の気 持ちはどう重ねて表すかを考えて主題を 生み出す。 ○主題をもとに、形や色彩、構図などの 構想を練る。 ○形や色彩、構図などを工夫して制作 する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫 を感じ取り、話し合う。	形や色彩、光な どが感情にもた らす効果や、造 形的な特徴をも とに、心を通して 捉えた風景を 全体のイメージ や作風で捉える ことを理解してい る。	自分の表したい 心情に合った材 料や用具を選 び、意図に 表現方法を追求 して創作的に表 している。	心に残っている 風景に、自分の 気持ちをどう重 ねて表すかを考 えて主題を生 み出し、単純化や 省略、強調など を考え、創造 的な構成を工夫し、 心豊かに表現 する構想を練 っている。	風景を描いた作 品の造形的なよ さや美しさなど を感じ取り、作者 がどのような気 持ちはどう重 ねて描いたなど のかを考えるな どして、美意識 を高め、見方 や感じ方 を深めている。	美術の創造活動 の喜びを味わ い、主体的に心 に残っている風 景に気持ちを重 ねて表す表現 の学習活動に 取り組もうとし ている。
評価資料					作品・制作過程のすべて・ワークシート・ 発言・定評テスト	作品・制作過程のすべて・ワークシート・ 発言・定評テスト	作品・制作過程のすべて・ワークシート・ 発言			

特別支援学級について

特別支援学級では、生徒の実態に合わせて下記のような学習を行います。

① 「自立活動」

ねらい

個々の生徒が自立を目指し、障がいによる学習や生活上の困難を主体的に改善したりそれに対して対処する方法を身に付けるために、必要な知識・技能・態度及び習慣を養い、心身の調和的発達の基盤を養う。

例：体力向上、コミュニケーション活動、ソーシャルスキルトレーニング、ビジョントレーニング、認知トレーニング、活動の見通しをたてる時間など。

② 「生活単元学習」

ねらい

生徒が、生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的に経験することによって、自立的な生活に必要な事柄を学習する。

例：園芸、手先の緻密性を高める作業学習、創作活動、調理実習など

③ 「教科学習」

ねらい

社会に出て、最低限必要な学力を身に付ける。

例：体験学習などを通して、経験を積み重ね、生活に即した学力をつける。

こくさいきょうしつ
Q: 国際教室ってどんなところですか？

⇒ A: 外国につながる生徒のみなさんのための場所です。

1. 日本に来て間もないみなさん

日本に来たばかりのみなさんには、日本語の授業はもちろん、教科の勉強の支援や母国では学んでいない学習内容の補習、学校生活や行事の事前学習、文化や習慣の違いによる悩み相談など、安心して東橋内中学校で過ごせるためのサポートを幅広く行っています。

2. 日本での生活が長いみなさん

日本の生活に慣れていて、日常生活の日本語にはあまり困っていないけれど、教科の勉強の日本語に困り感がある生徒のみなさんには、普通教室での授業のサポートを行っています。

3. 日本語能力試験への対応

国際教室では日本語を母語としない生徒のみなさんを対象に、日本語能力を測る「日本語能力試験」の対策も行っています。「日本語能力試験」に合格すると、学校での単位・卒業資格認定や、企業での優遇、社会的資格認定などさまざまなメリットがあり、将来日本の企業で働きたいと思っているみなさんには受験を強くおすすめしています。レベルはN1（幅広い場面で日本語を使うことができるレベル）からN5（基本的な日本語をある程度理解することができるレベル）までの5つで、本校に在学している間には、N3（日常的な場面で使われる日本語をある程度理解できるレベル）を取得することが目標です。今からチャレンジすることで、自分の将来にぜひつながけてください。



国際教室は、勉強だけではなく、外国につながるみなさんが困ったときに頼れる場所です。
困ったことがあればぜひ、国際教室に来てください。

おわりに

この「学習の手引き」を大いに活用し、より充実した学習活動を自主的に展開してくれることを期待しています。そして、これからの進路選択や人生選択において、「自己実現」し、最適な道を見つけ出す力を身に着け、輝く未来に歩み出してくれることを願っています。

学習の手引き

令和7年5月23日 第1刷発行

発行所 津市立東橋内中学校

津市中河原 356 番地 2

TEL 059-228-2624

FAX 059-228-2628

E-mail j2282624@res-edu.ed.jp